

小学校同窓会・中学校同窓会統合について

京都教育大学附属京都小中学校 東櫻同窓会(仮称)
設立発起人会代表 宮崎悟郎

同窓会の皆様におかれましては、ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、新聞報道などでもご存じの通り、平成22年4月より、京都教育大学附属京都小学校と京都教育大学附属京都中学校が統合され、9年制の小中一貫校、京都教育大学附属京都小中学校として再編成されました。このことに鑑み、昨年来、小学校同窓会である東櫻同窓会と中学校同窓会である京都教育大学附属京都中学校同窓会では今後の同窓会のあり方について「統合検討委員会」を設置し、各同窓会・また統合検討委員会などで検討を重ねて参りました。結論的にいいますと、母校が統合している以上、母校と密接な関係をもつ同窓会としては統合することが妥当であろうという結論をだしました。

同窓会につきましては、学校の統合以前から、小・中同窓会を統合してはどうかという意見が出ておりました。中学校創立以来、小学校卒業生のかなりの者が中学校にも進学しており、2つの同窓会が中学からの編入者はいるものの構成メンバーがあまり変わらないという現象が生じているためです。中学編入者も卒業時には小学校卒業生となんらかわりなく友情を温めて、あとの人生を同じ同窓生としてすごしております。中学創立以来60年を超え、両者が並立する必然性はあまりなくなってもおりました。

ここに統合委員会はそのまま発起人として、小学校・中学校同窓会合同同窓会の設立を提案するものです。名称は、京都教育大学附属京都小中学校 東櫻同窓会(仮称)といたします。

諸兄弟におかれましては、なにとぞ、諸事情をご賢察いただき、統合につきましてご理解たまわりたくお願い申し上げます。

平成23年4月24日